

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報

2009.7.5

No. 47

連絡先 042-555-1911



「思いやり」予算30年 米基地整備に2兆円超

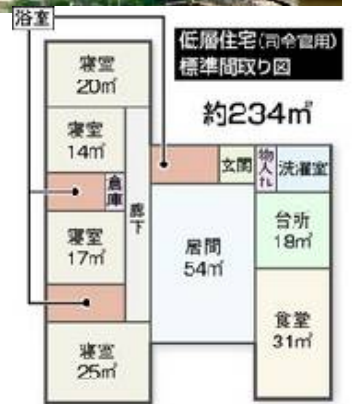
日米地位協定上も日本に負担義務のない在日米軍「思いやり」予算のうち 1979 年度から始まった基地建設費（提供施設整備）が 2008 年度までの 30 年間で約 2 兆 1283 億円に達することが判明しました。日本共産党への防衛省提出資料や予算要求資料などから分かったものです。全国 66 の米軍基地で 2,872 件の施設が建設・改修されました。

内訳は、件数では家族住宅 11,363 件、兵舎 230 件が約 9 割を占めています。これ以外にも学校や娯楽施設、病院、運動場、艦船や航空機などの修理施設、戦闘機の格納庫や耐爆シェルター、滑走路、原子力空母が接岸できるバース（係留施設）など 68 項目もあります。

（右写真：池子米軍家族住宅＝神奈川県逗子市。右図：米軍司令官用の住宅間取り。寝室 4 部屋、浴室 3 部屋もある。防衛省資料から）

基地別に金額の多い順は、①岩国飛行場 3,520 億円、②三沢飛行場 2,561 億円、③横須賀海軍施設 2,316 億円、④横田飛行場 1,777 億円、⑤嘉手納飛行場 1,306 億円、⑥厚木飛行場 1,079 億円です。（以下略） 「思いやり」予算以前にも、1973 年度から、関東地域の米空軍基地を横田基地に「集約」する「関東計画」に、政府は 1978 年度までに 450 億円を負担しています。

国民生活が深刻な中、米軍「思いやり」予算に対する国民の批判が大きく高まっています。（6月23日付「しんぶん赤旗」、日本共産党 HP「米基地整備に2兆円超」に詳細あり。）



横田基地 航空自衛隊航空総隊司令部棟 掘削工事終わり基礎工事に

- 福生市 6 月定例議会の一般質問のライブ中継から、市側の答弁をピックアップしました。
- ◎航空総隊司令部棟の掘削工事は 4 月 24 日終了。残土搬出量は 236,000 立法メートル。トラック延 4 万台。現在は基礎工事。1 日当たりトラック、生コンクリート 100 台、資材 10 台。
 - ◎1 月 20 日、横田基地内の火災は、壁のコンセントから火災が発生。壁の内側から急速に天井まで燃え広がり、スプリンクラーもほとんど機能しなかったようだ。最終報告は政府に提供されることになっているが、いつになるか未定。
 - ◎託児所は鉄筋コンクリート 1 階 2,400 ㎡で工期は平成 21 年 3 月 10 日から 22 年 2 月 28 日。
 - ◎平成 18 年度、日米合同委員会で合意した 10,000 ㎡は航空貨物ターミナル。今年度末工事終了。
 - ◎米軍人犯罪件数は、都内で、18 年 3 件、17 年 3 件。米軍人が加害者である交通事故は都内で、18 年度は公務上 13 件、公務外 112 件、19 年度は公務上 14 件、公務外 88 件。
 - ◎飛行機騒音、19 年度までは連続減少していたが、20 年度は 9655 回で 933 回増加した。
 - ◎横田基地の常駐機は現在、C-130 が 14 機、C-12 が 3 機、UH-1N が 4 機。
- その他、セスナ機が 6 機、操縦技術の向上のため訓練を行っているが、騒音の苦情が多い。（*以上の詳細は、福生市議会のホームページのライブ中継をご覧ください。）

軍事利用へ転換の「宇宙基本計画」 政府が決定

宇宙基本法は、2008年5月21日、自民、公明、民主各党などの賛成多数で可決、成立しました。宇宙の軍事利用に公然と道を開く狙いで制定されたものです。法律には、宇宙開発利用の司令塔となる宇宙開発戦略本部の設置が盛り込まれています。

宇宙基本法に基づいて専門家会合が今年4月にまとめた「宇宙基本計画」案は、日本の宇宙開発利用の力点を、従来の「研究開発」重視から「利用」重視に転換。そのうえで「宇宙を活用した安全保障の強化」「戦略的産業の育成」など、基本的な六つの方向性を掲げています。

「宇宙基本計画」は、今後10年程度を見通した5年間の宇宙開発利用についての国家戦略で、5年後をめどに見直されます。

この案に、国民が寄せた意見（パブリックコメント）では、「このままの計画では、日本が世界的な宇宙軍拡競争を激化させる役割を果たす可能性が高い」「憲法9条を持つ国で、他国を武力で威圧していくことにつながるシステム構築に強く反対します」など、宇宙の軍事利用に「反対」する声が多数あがっていました。

政府の宇宙開発戦略本部（本部長・麻生太郎首相）は、6月2日、会合を開き、「宇宙基本計画」を正式決定しました。一連の計画に必要な予算や人員は盛り込まれませんでした。添付した別紙で「官民合わせて最大2.5兆円の資金が必要」との試算を初めて示したそうです。

（写真：北朝鮮のミサイル発射を感知したとされる米軍の早期警戒衛星、通称 DSP 衛星 = NASA の HP より）



6月3日 横田基地における演習計画に関する情報提供について

（武蔵村山市 HP より）

このことについて、平成21年2月20日付でお知らせしましたが、在日米軍横田基地から横田防衛事務所を通じて下記のとおり演習日程の変更についての情報提供がありましたので、お知らせします。

演習（訓練）日程

平成21年	6月16日（火）	EME
	8月9日（日）～14日（金）	ORE
	9月14日（月）～16日（水）	IRRE / CERE
	10月12日（月）～16日（金）	ORE
	12月7日（月）～11日（金）	ORI

【参考】

- EME : 緊急管理演習（様々な状況を想定した重大事故における対応訓練。）
- ORE : 運用即応演習（あらゆることを想定したうえで行われる訓練。）
- IRRE : 初動対応即応演習（緊急事態発生に対する初動の対応を行う訓練で、OREの初期段階を想定。）
- CERE : 戦闘対象即応演習（戦闘装備品等の確保に迅速に対処するための対応訓練。）
- ORI : 運用即応監査（OREを実施し、太平洋空軍司令部がそれを評価する監査。）

横田基地についてのお問い合わせは、次のとおりです。

在日米軍横田基地 第374空輸航空団広報部

【電話】 042-552-2511（代） 内線57020

【所在地】 福生市米軍横田基地